



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 太平製作所  
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 神谷 慎二  
 (氏名) 桂山 哲夫

上場取引所 東 名  
 TEL 0568-73-6411

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	464	△56.7	△211	—	△192	—	△121	—
25年3月期第1四半期	1,072	98.1	48	—	53	—	23	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △125百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△9.04	—
25年3月期第1四半期	1.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第1四半期	5,936	—	2,998	—	50.5	223.35
25年3月期	6,337	—	3,178	—	50.2	236.73

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,998百万円 25年3月期 3,178百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成26年3月期(予想)の配当につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	△31.1	△90	—	△100	—	△60	—	△4.46
通期	5,000	8.1	360	80.4	370	77.5	220	125.6	16.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	15,000,000 株	25年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,574,354 株	25年3月期	1,574,354 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	13,425,646 株	25年3月期1Q	13,425,646 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続事業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権発足以来景気の持ち直しの動きが少しずつ見え始めておりますが、欧州の金融債務危機問題の長期化や世界経済の不安定な状況等により依然として厳しい状況のなか推移いたしました。当社を取り巻く事業環境も、わずかながら住宅着工戸数が増加する等景気持ち直しの動きが一部で見られるものの、材料等の不足や高騰感もあり先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、営業活動と開発活動に努力しましたが、受注に至るまでには結びつかず、結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は464百万円（前年同四半期比56.7%減）となりました。また、経費削減と原価管理を細かく実施しましたが、売上減少が大きく影響した結果、営業損失は211百万円（前年同四半期は48百万円の営業利益）、経常損失は192百万円（前年同四半期は53百万円の経常利益）、四半期純損失は121百万円（前年同四半期は23百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①合板機械事業

合板機械事業は、景気は徐々に上向きにありますが、依然として厳しい状況が続いており、結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は149百万円（前年同四半期比80.5%減）となりました。営業損失につきましては、コスト削減等に最大限努力しましたが、売上減少が大きく影響し、143百万円（前年同四半期は100百万円の営業利益）となりました。

## ②木工機械事業

木工機械事業は、木工業界全体に明るい兆しが見え始めておりますが、設備投資意欲はまだ回復していないことから受注確保は難しく売上計上には至っていないのが現状です。このような状況により、当第1四半期連結累計期間の売上高は55百万円（前年同四半期比57.5%減）となりました。営業損失につきましては、売上減少に加え、材料費等の価格高騰が現状も続いていることから、47百万円（前年同四半期は14百万円の営業損失）となりました。

## ③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界に持ち直しの動きが一部見え始め、先行き不透明だった景気も少しずつ回復傾向になりつつあることから、当第1四半期連結累計期間の売上高は259百万円（前年同四半期比46.6%増）となりました。利益につきましては、売上は増加しましたが、ツーバイフォーの部材の高騰が激しく、5百万円の営業利益（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、3,919百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加し、580百万円減少、受取手形及び売掛金が59百万円減少、たな卸資産が241百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、2,016百万円となりました。これは主に、有形固定資産が15百万円減少、無形固定資産が10百万円増加、投資その他の資産が33百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%減少し、5,936百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.4%減少し、2,191百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が290百万円減少、前受金が104百万円増加、未払法人税等が61百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、746百万円となりました。これは主に、リース債務が8百万円の増加、退職給付引当金が3百万円増加、繰延税金負債が6百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、2,937百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、2,998百万円となりました。これは、利益剰余金が175百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、国内経済の動向は上向きになりつつある反面、住宅着工戸数も低水準であるため回復したと呼ぶには程遠く、先行き不透明な厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であることから、受注から売上に至るまでには、長期間の納期が必要であることや、得意先の都合で機械が納入できないといった要因等もあり、売上を安定して計上することが困難な状況であります。一方、新しい製品の開発や現状の機械の改良・改善にも力を注いでおりますが、受注に至るまでには到達していないのが現状です。

当社グループは、このようなリスクを出来るだけ少なくするように努め、また、展示会に機械を出展するなど販売戦略に基づいた営業活動に一層力を入れ、得意先の設備が安全に稼働出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなどグループ一丸となって取り組んでまいり所存であります。

業績予想につきましては現在のところ平成25年5月14日に開示しました予想より変更等はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,163,785	1,583,776
受取手形及び売掛金	1,241,231	1,181,665
有価証券	100,000	100,000
製品	170,325	170,674
仕掛品	334,725	566,978
原材料及び貯蔵品	172,314	181,495
その他	104,608	140,823
貸倒引当金	△5,608	△5,776
流動資産合計	4,281,383	3,919,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	710,052	699,157
土地	689,746	689,746
その他（純額）	252,650	247,984
有形固定資産合計	1,652,449	1,636,888
無形固定資産	45,918	56,520
投資その他の資産	357,355	323,548
固定資産合計	2,055,723	2,016,956
資産合計	6,337,107	5,936,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	954,854	664,000
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	62,124	947
賞与引当金	49,699	26,785
役員賞与引当金	21,000	5,250
その他	280,196	444,457
流動負債合計	2,417,874	2,191,440
固定負債		
長期借入金	200,000	200,000
繰延税金負債	116,188	109,573
退職給付引当金	190,295	193,561
役員退職慰労引当金	9,288	9,575
その他	225,206	233,718
固定負債合計	740,978	746,430
負債合計	3,158,853	2,937,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,530,862	2,355,722
自己株式	△205,485	△205,485
株主資本合計	3,152,577	2,977,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,675	21,286
その他の包括利益累計額合計	25,675	21,286
純資産合計	3,178,253	2,998,725
負債純資産合計	6,337,107	5,936,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,072,287	464,522
売上原価	837,602	493,134
売上総利益	234,684	△28,611
販売費及び一般管理費	186,679	183,336
営業利益又は営業損失(△)	48,005	△211,948
営業外収益		
受取利息	101	221
受取配当金	1,883	1,595
鉄屑売却収入	269	1,580
デリバティブ評価益	7,422	—
保険解約返戻金	402	17,805
その他	836	1,855
営業外収益合計	10,916	23,058
営業外費用		
支払利息	3,578	3,918
為替差損	2,211	—
その他	5	0
営業外費用合計	5,795	3,918
経常利益又は経常損失(△)	53,125	△192,808
特別損失		
固定資産除売却損	2,011	—
特別損失合計	2,011	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,114	△192,808
法人税、住民税及び事業税	25,445	647
過年度法人税等戻入額	—	△7,195
法人税等調整額	1,913	△64,823
法人税等合計	27,358	△71,371
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	23,756	△121,436
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,756	△121,436



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	23,756	△121,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,001	△4,389
その他の包括利益合計	△13,001	△4,389
四半期包括利益	10,754	△125,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,754	△125,825

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	764,474	130,502	177,310	1,072,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	764,474	130,502	177,310	1,072,287
セグメント利益又は損失(△)	100,598	△14,829	△1,530	84,238

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	84,238
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△36,233
四半期連結損益計算書の営業利益	48,005

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	149,019	55,516	259,986	464,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	149,019	55,516	259,986	464,522
セグメント利益又は損失（△）	△143,772	△47,432	5,929	△185,274

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（再調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△185,274
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△26,673
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△211,948

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。